



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名 住友金属鉱山株式会社

上場取引所 東大

コード番号 5713 URL <http://www.smm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 家守 伸正

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部担当部長 (氏名) 安川 修一

TEL 03-3436-7705

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	434,261	1.1	45,071	△0.2	61,505	29.8	37,519	5.6
23年3月期第2四半期	429,698	31.8	45,140	94.1	47,388	70.2	35,542	110.0

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 36,506百万円 (376.3%) 23年3月期第2四半期 7,664百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	66.76	61.30
23年3月期第2四半期	63.23	58.09

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,128,589	715,772	57.6
23年3月期	1,052,353	684,103	59.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 650,466百万円 23年3月期 630,116百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	12.00	—	20.00	32.00
24年3月期	—	16.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	815,000	△5.7	80,000	△16.7	104,000	△15.9	67,000	△20.2	119.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) エス・エム・エム シエラゴルダ インベ、除外 1社 (社名)  
ルシオネス社

(注)詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	581,628,031 株	23年3月期	581,628,031 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	19,644,537 株	23年3月期	19,621,490 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	561,993,710 株	23年3月期2Q	562,100,061 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成23年5月12日に公表いたしました平成24年3月通期業績予想について、本資料において修正しております。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	12
(5) セグメント情報等 .....	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	13
4. 補足情報 .....	14
(1) 海外相場・為替 .....	14
(2) 主な製品別売上数量・単価・売上高（当社） .....	14
(3) 製品別生産量（当社） .....	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の世界の経済情勢は、全般的には緩やかな回復傾向にありましたが、欧州のソブリンリスク問題や中国をはじめとした新興国における成長の鈍化などから減速傾向を強めております。一方、国内景気は東日本大震災後に急ピッチで進んだ供給網の回復により好転の兆しも見えましたが、海外経済の減速と、円高の進行により厳しい状況が続きました。

非鉄金属業界におきましては、当第2四半期連結累計期間でのニッケル価格は前年同期間と比べ高い水準ではじまりましたが、当累計期間を通して緩やかな下降局面で推移しました。銅価格は高水準で推移しましたが、8月から当会計期間末にかけて下落しました。金価格は上昇を継続し9月上旬には過去最高値を記録しました。為替相場につきましては、当会計期間末にかけて円高が進行しました。エレクトロニクス関連業界におきましては、ユーザーでの在庫調整が続きました。

このような状況のなか、当第2四半期連結累計期間の売上高は、材料セグメントにおいて販売環境の悪化により減販となったものの、資源及び製錬セグメントが金属価格上昇により、前年同期間に比べ45億63百万円増加し、4,342億61百万円となりました。営業利益は、銅及び金価格が前年同期間に比べ上昇したことによる増加はありましたが、半導体材料の減販及びニッケルの在庫評価影響の悪化などがあり、前年同期間に比べ69百万円減少し、450億71百万円となりました。経常利益は、持分法による投資利益の増加により前年同期間に比べ141億17百万円増加し、615億5百万円となりました。四半期純利益は、前年同期間に比べ19億77百万円増加し、375億19百万円となりました。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

#### ① 資源セグメント

菱刈鉱山ではおおむね順調な生産を継続しております。ポゴ金鉱山は、ほぼ前年同期間並みの産金量となりました。モレンシー銅鉱山ほか海外銅鉱山については、銅価格が前年同期間に比べて上昇したことにより、業績好転に寄与しております。

売上高は、前年同期間に比べ81億19百万円増加し525億50百万円となり、セグメント利益は、前年同期間に比べ162億57百万円増加し、472億71百万円となりました。

#### ② 製錬セグメント

ニッケルは、前年同期間を上回る価格で推移し、販売量も前年同期間を上回りました。銅は、前年同期間を上回る価格で推移したものの、販売量は前年同期間を下回りました。ニッケルの在庫評価影響の悪化があったものの、持分法による投資利益の増加により、前年同期間を上回る業績となりました。

売上高は、前年同期間に比べ127億15百万円増加し3,513億37百万円となり、セグメント利益は、前年同期間に比べ46億87百万円増加し、174億62百万円となりました。

#### ③ 材料セグメント

半導体及び液晶関係の需要が低迷するなか、ユーザーでの在庫調整が続き、前年同期間を下回る業績となりました。

売上高は、前年同期間に比べ121億17百万円減少し981億59百万円となり、セグメント利益は、前年同期間に比べ43億30百万円減少し、6億28百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、シエラゴルド鉱山社への出資等による投資有価証券の増加、タガニートプロジェクトに関する建設仮勘定の増加、譲渡性預金である有価証券の増加などから、前連結会計年度末に比べ762億36百万円増加し、1兆1,285億89百万円となりました。

また、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ316億69百万円増加し、7,157億72百万円となり、自己資本比率は57.6%（前連結会計年度末は59.9%）となりました。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、1,429億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ、146億23百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が前年同期間並みの494億27百万円となりましたが、法人税等の支払いのほか、たな卸資産の増加と仕入債務の減少により、338億87百万円の収入（前年同期間比260億4百万円の収入減少）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、シエラゴールド鉱山社等の海外資源開発事業への出資、タガニートプロジェクトに関する固定資産の取得などにより、661億69百万円の支出（前年同期間比365億41百万円の支出増加）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い、長期借入金の返済などがありましたが、社債の発行により462億63百万円の収入（前年同期間比576億93百万円の収入増加）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

海外の経済情勢は、減速が鮮明となりつつあり、需要の減少から非鉄金属価格は弱含みでの推移が見込まれます。また為替相場における円高も長引くことが予想されることから、通期の連結業績につきまして、前回予想（平成23年5月12日公表）に比べ、営業利益、経常利益、当期純利益がそれぞれ15%～21%減少する見通しであります。

通期の報告セグメントごとの売上高及びセグメント利益の予想数値は以下のとおりであります。（参考：セグメント利益は(四半期)連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。）

なお、配当予想につきましては、据え置くこととしております。

24年3月期通期 連結業績予想（今回修正）

（単位：百万円）

	資源	製錬	材料	報告 セグメント 計	その他	調整額	計
売上高	104,000	633,000	196,000	933,000	35,000	△153,000	815,000
セグメント利益	81,000	26,000	△2,000	105,000	1,000	△2,000	104,000

ご参考：24年3月期通期 連結業績予想（前回予想）

（単位：百万円）

	資源	製錬	材料	報告 セグメント 計	その他	調整額	計
売上高	98,000	619,000	204,000	921,000	35,000	△147,000	809,000
セグメント利益	73,000	39,000	7,000	119,000	1,000	4,000	124,000

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において連結範囲に含めた特定子会社（1社）  
エス・エム・エム シェラゴルダ インベルシオネス社は、新たに設立し、増資により重要性が増したため、  
当第2四半期連結会計期間末日より、連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

連結子会社は、税金費用について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税  
効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	92,024	54,475
受取手形及び売掛金	104,324	97,794
有価証券	36,500	88,500
商品及び製品	80,271	99,439
仕掛品	50,526	37,064
原材料及び貯蔵品	39,449	37,802
その他	69,706	85,213
貸倒引当金	△242	△237
流動資産合計	472,558	500,050
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	81,053	81,105
機械装置及び運搬具(純額)	107,762	96,084
工具、器具及び備品(純額)	4,823	4,318
土地	26,509	26,511
建設仮勘定	44,942	69,585
有形固定資産合計	265,089	277,603
無形固定資産		
鉱業権	8,824	8,126
その他	3,456	3,336
無形固定資産合計	12,280	11,462
投資その他の資産		
投資有価証券	282,317	316,381
その他	20,337	23,318
貸倒引当金	△222	△219
投資損失引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	302,426	339,474
固定資産合計	579,795	628,539
資産合計	1,052,353	1,128,589

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,593	34,990
短期借入金	65,841	68,817
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	15,520	4,214
賞与引当金	3,254	3,601
休炉工事引当金	970	1,260
事業再編損失引当金	189	189
関係会社整理損失引当金	5	4
環境対策引当金	106	212
災害損失引当金	387	281
その他の引当金	191	141
その他	66,430	75,561
流動負債合計	205,486	199,270
固定負債		
社債	—	50,000
長期借入金	135,128	135,808
退職給付引当金	7,158	6,930
役員退職慰労引当金	58	51
事業再編損失引当金	1,032	933
損害補償損失引当金	0	0
環境対策引当金	26	55
その他の引当金	204	213
資産除去債務	4,268	4,376
その他	14,890	15,181
固定負債合計	162,764	213,547
負債合計	368,250	412,817
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	93,242	93,242
資本剰余金	86,063	86,063
利益剰余金	524,978	553,324
自己株式	△21,788	△21,818
株主資本合計	682,495	710,811
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,738	11,537
繰延ヘッジ損益	△4,636	△7,882
為替換算調整勘定	△65,481	△64,000
その他の包括利益累計額合計	△52,379	△60,345
少数株主持分	53,987	65,306
純資産合計	684,103	715,772
負債純資産合計	1,052,353	1,128,589



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	429,698	434,261
売上原価	364,063	368,098
売上総利益	65,635	66,163
販売費及び一般管理費		
販売輸送費及び諸経費	4,393	4,246
給料及び手当	4,600	4,789
賞与引当金繰入額	430	518
退職給付費用	522	472
役員退職慰労引当金繰入額	6	3
研究開発費	2,448	2,540
その他	8,096	8,524
販売費及び一般管理費合計	20,495	21,092
営業利益	45,140	45,071
営業外収益		
受取利息	270	400
受取配当金	844	886
持分法による投資利益	7,773	22,660
その他	825	344
営業外収益合計	9,712	24,290
営業外費用		
支払利息	1,262	1,637
為替差損	4,615	4,228
借入金地金評価損	622	195
その他	965	1,796
営業外費用合計	7,464	7,856
経常利益	47,388	61,505
特別利益		
固定資産売却益	114	46
投資有価証券売却益	85	60
事業再編損失引当金戻入額	8	—
貸倒引当金戻入額	10	—
持分変動利益	2,309	—
特別利益合計	2,526	106

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
特別損失		
固定資産売却損	28	12
固定資産除却損	288	101
減損損失	—	5,477
投資有価証券売却損	96	—
投資有価証券評価損	34	6,144
事業再編損失引当金繰入額	141	—
環境対策引当金繰入額	—	139
災害損失	—	311
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	361	—
特別損失合計	948	12,184
税金等調整前四半期純利益	48,966	49,427
法人税、住民税及び事業税	11,408	8,395
法人税等調整額	1,005	△2,095
法人税等合計	12,413	6,300
少数株主損益調整前四半期純利益	36,553	43,127
少数株主利益	1,011	5,608
四半期純利益	35,542	37,519

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	36,553	43,127
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,693	△6,195
繰延ヘッジ損益	△1,789	△3,133
為替換算調整勘定	△10,430	3,778
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,977	△1,071
その他の包括利益合計	△28,889	△6,621
四半期包括利益	7,664	36,506
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,156	29,553
少数株主に係る四半期包括利益	△3,492	6,953

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	48,966	49,427
減価償却費	18,089	16,088
減損損失	—	5,477
固定資産売却損益(△は益)	△86	△34
固定資産除却損	288	101
投資有価証券売却損益(△は益)	11	△60
投資有価証券評価損益(△は益)	—	6,144
デリバティブ評価損益(△は益)	149	709
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	361	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△26	△8
投資損失引当金の増減額(△は減少)	△64	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	230	347
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△65	△70
休炉工事引当金の増減額(△は減少)	△174	290
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△59	16
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△144	△7
事業再編損失引当金の増減額(△は減少)	△178	△99
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	—	△1
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△254	135
災害損失引当金の増減額(△は減少)	—	△106
その他の引当金の増減額(△は減少)	△3,006	29
受取利息及び受取配当金	△1,114	△1,286
支払利息	1,262	1,637
為替差損益(△は益)	682	308
持分法による投資損益(△は益)	△7,773	△22,660
停止事業管理費用	261	278
持分変動損益(△は益)	△2,309	—
災害損失	—	311
売上債権の増減額(△は増加)	△8,390	11,195
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,114	△4,643
仕入債務の増減額(△は減少)	10,236	△3,354
未払消費税等の増減額(△は減少)	4,829	△453
その他	5,689	△15,442
小計	69,525	44,269
利息及び配当金の受取額	9,427	11,334
利息の支払額	△1,347	△1,597
事業停止期間管理費用の支払額	△261	△278
災害復旧費用の支払額	—	△368
法人税等の支払額	△17,453	△19,473
営業活動によるキャッシュ・フロー	59,891	33,887

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△22,923	△34,899
有形固定資産の売却による収入	169	553
無形固定資産の取得による支出	△236	△226
投資有価証券の取得による支出	△781	△1,004
投資有価証券の売却による収入	183	150
関係会社株式の取得による支出	△7,663	△30,031
定期預金の預入による支出	△36	—
定期預金の払戻による収入	28	177
短期貸付けによる支出	△30	△24
短期貸付金の回収による収入	1,976	67
長期貸付けによる支出	△365	△944
長期貸付金の回収による収入	50	40
その他	—	△28
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△29,628</b>	<b>△66,169</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	960	3,819
長期借入れによる収入	—	2,452
長期借入金の返済による支出	△2,895	△2,376
社債の発行による収入	—	49,736
少数株主からの払込みによる収入	—	8,870
自己株式の増減額 (△は増加)	△46	△30
配当金の支払額	△7,308	△11,240
少数株主への配当金の支払額	△2,141	△4,968
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△11,430</b>	<b>46,263</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,038	642
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	17,795	14,623
現金及び現金同等物の期首残高	100,452	128,311
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,060	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	115,187	142,934

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	資源	製錬	材料	報告 セグメント 計	その他	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	29,171	286,618	102,295	418,084	11,614	—	429,698
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	15,260	52,004	7,981	75,245	2,614	△77,859	—
計	44,431	338,622	110,276	493,329	14,228	△77,859	429,698
セグメント利益	31,014	12,775	4,958	48,747	925	△2,284	47,388

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	資源	製錬	材料	報告 セグメント 計	その他	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	32,067	305,212	86,362	423,641	10,620	—	434,261
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	20,483	46,125	11,797	78,405	2,702	△81,107	—
計	52,550	351,337	98,159	502,046	13,322	△81,107	434,261
セグメント利益	47,271	17,462	628	65,361	473	△4,329	61,505

(注) 1. セグメント利益の調整額は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
各報告セグメントに配賦しない本社費用 ※1	△4,974	△4,886
各報告セグメントで負担する資本コスト ※2	7,435	7,978
報告セグメント間取引消去	53	△2,506
各報告セグメントに配賦しない営業外損益 ※3	△5,042	△5,168
その他調整額	244	253
計	△2,284	△4,329

- ※1 各報告セグメントに配賦しない本社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
- ※2 資本コストとは、社内管理上、各セグメント利益を算出するに際し、財務上金利負担を行っていない親会社の各セグメントに対して、その保有総資産見合いの金利負担額を算出したものであります。資本コストの算出は、親会社の各セグメントが保有する総資産に「社内金利」を乗じております。「社内金利」は親会社の資本と負債のコストを加重平均した金利相当を適用しております。なお、各セグメントで計上した資本コストの合計額は、同額を「調整額」でマイナス計上しており、全社合計では相殺されるため四半期連結財務諸表上の影響はありません。
- ※3 各報告セグメントに配賦しない営業外損益は、報告セグメントに帰属しない為替差損益及び支払利息等であります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 各セグメントに属する製品及びサービスの種類

セグメント	主要製品・サービス
資源	国内及び海外における非鉄金属資源の探査、開発、生産及び生産物の販売
製錬	銅、ニッケル、フェロニッケル、亜鉛、鉛の製錬、販売及び金、銀、白金等の貴金属の製錬、販売等
材料	半導体材料であるリードフレーム、テープ材料（2層めっき基板、COF基板(Chip On Film：液晶画面を表示させるICを実装する基板)）、ボンディングワイヤー等の製造、加工及び販売 機能性材料であるペースト、粉体材料（ニッケル粉等）、電池材料（水酸化ニッケル等）、結晶材料等の製造、加工及び販売
その他	自動車排ガス処理触媒、化学触媒、石油精製脱硫触媒、軽量気泡コンクリート等の製造及び販売、エンジニアリング事業、不動産事業等

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 (固定資産に係る重要な減損損失)

製錬セグメントにおいて、収益が見込めなくなった亜鉛・鉛製錬の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては54億77百万円であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 海外相場・為替

		A	B	(A+B)/2	C	A-C
	単位	当第2四半期 累計実績	当第3及び第4 四半期予想	平成23年度 予想	前第2四半期 累計実績	対前年同期間 増減(△は減少)
銅	\$/t	9,072	8,000	8,536	7,135	1,937
金	\$/TOZ	1,603.1	1,650.0	1,626.5	1,211.1	392.0
ニッケル	\$/lb	10.52	9.00	9.76	9.90	0.62
亜鉛	\$/t	2,240	2,000	2,120	2,020	220
為替 (TTM)	円/\$	79.82	75.00	77.41	88.96	△9.14

## (2) 主な製品別売上数量・単価・売上高 (当社)

報告セグメント	製品	単位	当第2四半期累計 (実績)	当第3四半期 (予想) 当第4四半期 (予想)	平成23年度 (予想)
			自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
資源	金銀鉱 (金量)	t	65,248	65,086	130,334
		千円/DMT	263	180	221
		百万円	17,142	11,706	28,848
		(kg)	(4,323)	(3,177)	(7,500)
製錬	銅	t	193,674	203,926	397,600
		千円/t	735	609	671
		百万円	142,443	124,155	266,598
		kg	19,940	14,100	34,040
	金	円/g	4,114	3,985	4,060
		百万円	82,035	56,183	138,218
		kg	109,241	109,326	218,567
		千円/kg	100	97	99
	銀	百万円	10,922	10,626	21,548
		t	32,401	33,680	66,081
		千円/t	2,003	1,572	1,783
		百万円	64,893	52,937	117,830
	ニッケル	t	10,907	10,907	21,814
		千円/t	187	187	187
百万円		2,043	2,043	4,086	
(t)		(47,848)	(47,848)	(95,696)	
亜鉛 (受託亜鉛含)	t	10,907	10,907	21,814	
	千円/t	187	187	187	
	百万円	2,043	2,043	4,086	
	(t)	(47,848)	(47,848)	(95,696)	
材料	半導体材料 機能性材料	百万円	61,687	58,843	120,530

(注) 1. 当社は、主要製品の受注生産比率が少なく、主として見込生産によっております。

2. ニッケルには、フェロニッケルを含めて表示しております。



## (3) 製品別生産量(当社)

製品	単位	当第2四半期累計
		自平成23年4月1日 至平成23年9月30日
銅	t	158,327
金	kg	15,359
電気ニッケル	t	19,905
フェロニッケル	t	10,140
亜鉛	t	36,941
金銀鉱	t	66,463
(金量)	(kg)	(5,148)
亜鉛(委託分)	t	10,126

(注) 1. 生産量には、受委託分を含めて表示しております。

2. 亜鉛の委託分は、外数として表示しております。